

平成31(2019)年度 学校経営計画

1 教育目標

生徒一人一人の健康でたくましい身体、個性を生かした創造的な知性と技能、豊かな心、正しい社会連帯意識を養い、自己実現をととして国家社会の進歩発展に貢献できる人間を育成する。

(1) 基本目標

- ① 健康で気力のある生徒を育成する。
- ② 学力豊かで創造力のある生徒を育成する。
- ③ 勤労を尊び責任感のある生徒を育成する。
- ④ 国際感覚に秀で思いやりのある生徒を育成する。

(2) 具体目標（具体的な生徒像）

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① 気力あふれるたくましい生徒 | ② 自ら学び考える生徒 |
| ③ 進んで仕事をする生徒 | ④ 豊かな心と思いやりのある生徒 |

2 学校経営の理念

21世紀の知識基盤社会の時代を生きる人間を育てるに当たり、生徒の「自己教育力」を高める創造的な学校経営の推進を柱として、生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育み、生徒が自ら自分の未来を切り拓く力を育てる教育を実践する。そのために、教職員は同僚性を十分に発揮し、生徒の育ちのプロセスを的確にとらえ、価値のある賞賛と励ましにより「自己肯定感」を育成する。

3 学校経営の方針

本校のよき伝統を継承し、さらに将来を展望しながら教育目標の具現化を図るため、昨年度の振り返りや学校評価・外部評価等を生かし、課題解決を図りながら、地域や保護者から信頼される、より良い学校経営に全校体制で取り組む。

(1) 確かな学力の定着

- ・授業時数の確保と学習指導要領に基づく「本時のねらい」を明確に示した授業の展開、個に応じた指導の工夫、さらには指導と評価の一体化を推進することにより、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等を育成し、確かな学力の定着を図る。

(2) 心の教育の推進

- ・心に響く道徳の授業、読書活動、あいさつ運動、人権教育、国際理解教育、福祉教育等の充実を図り、教育活動全体をととして、思いやりにあふれた心の教育を推進する。

(3) 生徒指導の充実

- ・一人一人の家庭的な背景を踏まえながら、生徒とのコミュニケーションを重視し、信頼関係の構築に努める。
- ・生徒の自律の精神を培うために、「育てる生徒指導」（自己教育力・自己肯定感の育成）の推進を図る。
- ・問題行動の未然防止、早期発見、解決に向けて、家庭や他機関との連携を図りながら組織的に取り組む。

(4) 健康・体力の向上

- ・食育の充実と健康的な生活を送るための指導の充実を図る。
- ・新体力テストの結果を活用し、進んで運動に取り組む態度の育成と体力の向上を図る。

(5) 特別支援教育と教育相談の充実

- ・生徒一人一人のニーズに対応した教育支援の充実が図れるよう、校内特別支援委員会の機能を生かして組織的に取り組む。
- ・不登校の防止や解消、生徒一人一人の悩みの解消を目指し、明るい学校生活を実現するために、教育相談の意図的・計画的な実施と教職員のスキルの向上を図る。

(6) 家庭・地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進

- ・地域の教育力を生かし、家庭・地域社会との連携と開かれた学校づくりに努めるとともに、地域に信頼される学校づくりを推進する。

(7) 教職員の使命感と資質の向上・働き方の意識向上

- ・時代や生徒、保護者のニーズに応えるため、教職員としての使命を深く自覚し、協働体制のもとに各自の特性の発揮と資質の向上に努める。同時に業務の適正化に努め健康安全管理に配慮する。

星が丘地域学校園教育ビジョン 「未来を見つめ、学び続ける力の育成」
～星が丘地域学校園の学校文化を築くことを通して～

4 今年度の重点目標 (「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営

- ・生徒の自己教育力を高める、創造的な学校経営の推進
 - ー 生徒の主体的な活動と自己肯定感を助長するための指導の工夫 ー
- ・校内の組織的な取組や時間管理への意識を高めるとともに、業務の適正化を図る。

(2) 学習指導

- ・自らの考えを進んで表出する生徒の育成
- ・本時のねらいを共有し、目的をもって学ぶ生徒の育成

(3) 生徒指導

- ・家庭や地域との連携を深め、心豊かで思いやりのある生徒の育成
- ・価値のある称賛と励ましを通して、自己肯定感や誇りを持てる生徒の育成

(4) 健康（保健安全・食育）・体力 (元気アップ教育に係る取組を含む)

- ・自己の健康、体力の状況を的確に理解し、進んで健康、体力の向上に励むたくましい生徒の育成

5 特色ある学校づくりに関する取組

(1) 育てたい資質・能力

テーマ 「自らの生き方を自らの力で見つけることのできる生徒の育成」

- ① 自主自律の精神で、自己実現をめざして努力しようとする態度や能力
(自主自律と自己実現)
- ② 豊かなコミュニケーション能力 (人間関係構築・表現)

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には文頭に◇）

① 課題解決を目指した2つの研究プロジェクト

【学力向上プロジェクト】

- ・全国学力・学習状況調査やとちぎっ子学習状況調査、学習内容定着度調査等の分析と活用
- ・授業力向上を目指した公開授業や校内研修等の充実
- ・学力定着度の二極分化の解消を図るための指導の工夫

【体力向上プロジェクト】

- ・新体力テストの結果の分析と活用
- ・「投力の向上」と補強運動を中心とした保健体育科の取組の工夫
- ・学校行事や生徒会専門委員会の取組の工夫

② 地域人材と連携した豊かな体験活動の実践

- 「総合的な学習の時間」の充実 ー 自ら学び、考え、実践する生徒の育成 ー
- ・生徒の探究活動の充実と探究意欲の向上を目指したプログラムの作成

◇ 地域をフィールドとした調査研究活動の充実

◇ 地域の学習資源を活用した活動の充実

◇ 地域人材を活用した講演会等の実施

- ・集団の中で育てるコミュニケーション能力の育成

③ 「自らの考えを進んで表出する力」の育成

- ・「言語活動の充実」を意図した授業の工夫
- ・学級活動におけるグループ活動や話し合い活動、人間関係づくりのための構成的グループエンカウンター等の工夫

- ④福祉教育や国際理解教育、ボランティア活動の充実
 - ・地域行事への参加、ボランティアとしての協力 ・地域の高齢者施設等への訪問
 - ・「小さな親切運動」への参加 ・国際理解教育に関する授業研究や関係機関との連携
- ⑤教師力向上のための研修の充実
 - ・職員研修、授業研究会、校内授業公開等の充実
 - ・特別支援教育の推進および研修の充実

6 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

① 基本的考え

○特色ある学校づくり、各教科の学習や学校行事、生徒指導、学校の環境整備等、様々な教育活動の充実のため、学校は家庭・地域と積極的に連携する。特に、魅力ある学校づくり地域協議会においては、家庭や地域が学校と一体となって取り組む（支援・協力する）内容について、企画運営等を推進する。

②主な取組

- 地域協議会の活性化
 - ・学校ボランティア（図書ボランティア、花壇づくりボランティア等）の充実
 - ・地域行事への積極的な参加・協力（生徒のボランティア活動等）
- 「地域」テーマにした総合的な学習の時間の充実
 - 1年生：地域を知る 2年生：地域に学ぶ 3年生：地域に貢献する

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

○星が丘地域学校園教育ビジョン「未来を見つめ、学び続ける力の育成」のもと、運営会議を核として、5つの部会（交流推進、学習、健康・体力、生活、地域学校園事務室に分かれて運営する。さらに部会ごとに分科会を設け、年間活動計画をもとに各活動の実践を行い、相互に情報を共有する。

②主な取組

- 地域学校園の全体研修や各部会・分科会の充実
- 小中一貫教育カリキュラムに関する取組の充実
 - ・9年間の系統的な指導を図るための各教科の年間指導計画の見直しと実践を通じた改善
 - ・「宮っ子心の教育」「宮・未来キャリア教育」「元気アップ教育」の年間指導計画の整備・充実
- 乗り入れ授業の精選
 - ・数学、英語に絞り、中学校の授業の進め方や雰囲気を理解させるための乗り入れ授業の実施
 - ・小学校外国語活動における中学校英語科教員の授業参画の工夫

(3) 不登校対策

①基本的考え

○「市及び学校いじめ防止基本方針」に基づき、生徒主体のいじめ根絶集会や道徳の授業等でいじめについて議論する機会を設定し、いじめに正面から向き合う態度を育成する。

②主な取組

- 「いじめゼロ運動」を通して規範意識や正義感、思いやりの心の育成に努める。
- 「不登校対策の手引書」を活用し、互いを尊重し合う温かな人間関係作りを推進し、新たな不登校を生まない集団づくりに努める。
- 校内教育相談部会を週1回時間割に位置づけ、情報交換と組織的な早期対応の充実を図る。